

楽天グローバル・バランス (安定型／成長型／積極型) ＜愛称：豊饒^{ほうじょう}の木＞

安定型

追加型投信/内外/資産複合

当期末	
基準価額	13,867円
純資産総額	105百万円
騰落率	6.3%
分配金合計	0円

交付運用報告書

第11期(決算日 2020年8月20日)

(作成対象期間 2019年8月21日～2020年8月20日)

成長型

当期末	
基準価額	16,315円
純資産総額	283百万円
騰落率	5.2%
分配金合計	0円

受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いました。当ファンドは、主として、世界各国の取引所に上場されている投資信託証券への投資を通じて、世界の株式、債券、不動産投資信託、商品へ実質的に分散投資を行い、長期的な投資信託財産の成長をめざして運用を行いました。ここに当期間の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

積極型

当期末	
基準価額	17,186円
純資産総額	1,906百万円
騰落率	3.3%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞

右記ホームページアドレスにアクセス

⇒「基準価額一覧」から当該ファンドを選択

⇒「運用報告書(全体版)」を選択し、閲覧およびダウンロード

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

楽天投信投資顧問株式会社

<https://www.rakuten-toushin.co.jp/>

東京都港区南青山二丁目6番21号

本資料(交付運用報告書)の記載内容のお問い合わせ先

TEL：03-6432-7746

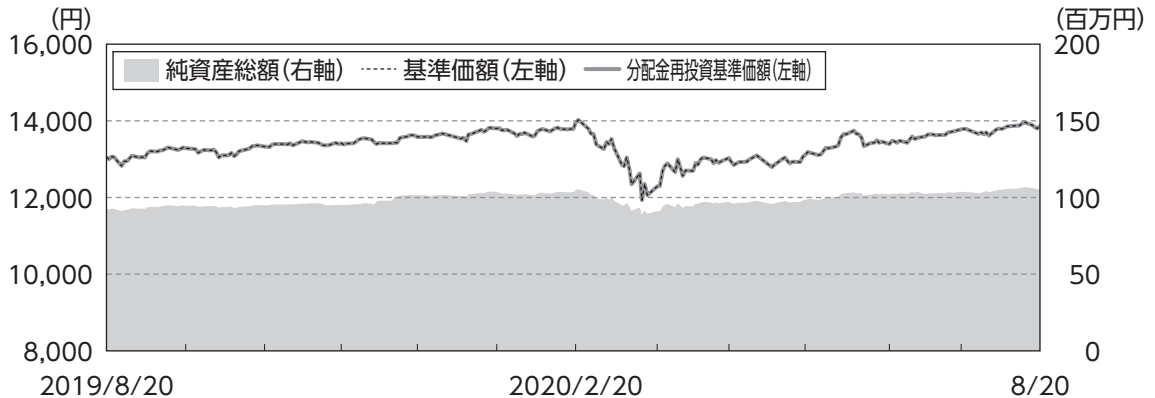
受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

Rakuten 楽天投信投資顧問

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



期首：13,042円

期末：13,867円(既払分配金0円)

騰落率：6.3%(分配金再投資ベース)

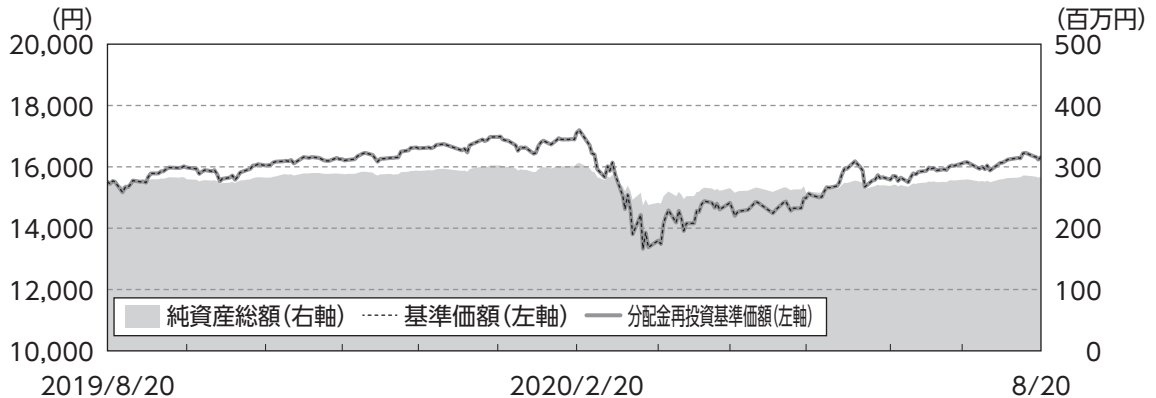
- (注1)分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3)分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

2 基準価額の変動要因

「安定型」では、組み入れているETFがすべて上昇し、なかでも米国株式に投資するETFや最も組入比率の高い先進国の国債に投資するETFの上昇が基準価額に大きくプラス寄与しました。一方、米ドルが対円で小幅ながらも下落したことから為替要因はマイナス寄与となりました。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



期 首：15,507円

期 末：16,315円(既払分配金0円)

騰落率：5.2%(分配金再投資ベース)

- (注1)分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3)分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

「成長型」では、商品指数に連動するETFや米国リートに投資するETFが下落したものの、米国株式に投資するETFや先進国の国債に投資するETFなどが上昇したことから、ファンドが投資しているETF全体からのリターンはプラス寄与を確保しました。一方、米ドルが対円で小幅ながらも下落したことから為替要因はマイナス寄与となりました。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



期 首：16,643円

期 末：17,186円(既払分配金0円)

騰落率：3.3%(分配金再投資ベース)

- (注1)分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3)分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

2 基準価額の変動要因

「積極型」では、商品指数に連動するETFや米国リートに投資するETFが下落したものの、米国株式に投資するETFや北米を除く先進国の株式に投資するETFなどが上昇したことから、ファンドが投資しているETF全体からのリターンはプラス寄与を確保しました。一方、米ドルが対円で小幅ながらも下落したことから為替要因はマイナス寄与となりました。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2019年8月21日～2020年8月20日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社)	137円 (59)	1.023% (0.440)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は13,375円です。 ・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(74)	(0.550)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	5 (5)	0.034 (0.034)	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用)	76 (57)	0.572 (0.424)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
(監査費用)	(2)	(0.017)	
(印刷費用)	(16)	(0.116)	
(その他)	(2)	(0.015)	
合 計	218	1.629	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2019年8月21日～2020年8月20日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社)	162円 (70)	1.023% (0.440)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は15,806円です。 ・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(87)	(0.550)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(受託会社)	(5)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	4 (4)	0.026 (0.026)	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用)	44 (24)	0.281 (0.150)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
(監査費用)	(3)	(0.020)	
(印刷費用)	(15)	(0.092)	
(その他)	(3)	(0.019)	
合 計	210	1.330	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

3 1万口当たりの費用明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	2019年8月21日～2020年8月20日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社)	172円 (74)	1.023% (0.440)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は16,816円です。 ・委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(92)	(0.550)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(受託会社)	(6)	(0.033)	
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	4 (4)	0.023 (0.023)	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用)	25 (5)	0.151 (0.030)	(d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料、その他投資信託財産の運営にかかる費用等
(監査費用)	(4)	(0.023)	
(印刷費用)	(14)	(0.082)	
(その他)	(3)	(0.017)	
合 計	201	1.197	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

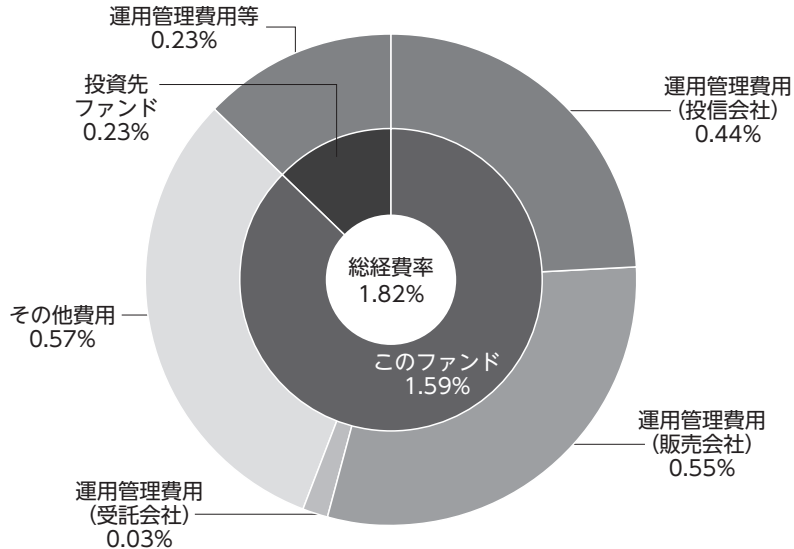
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示することとしております。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.82%です。



総経費率 (①+②)	1.82%
①このファンドの費用の比率	1.59%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.23%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

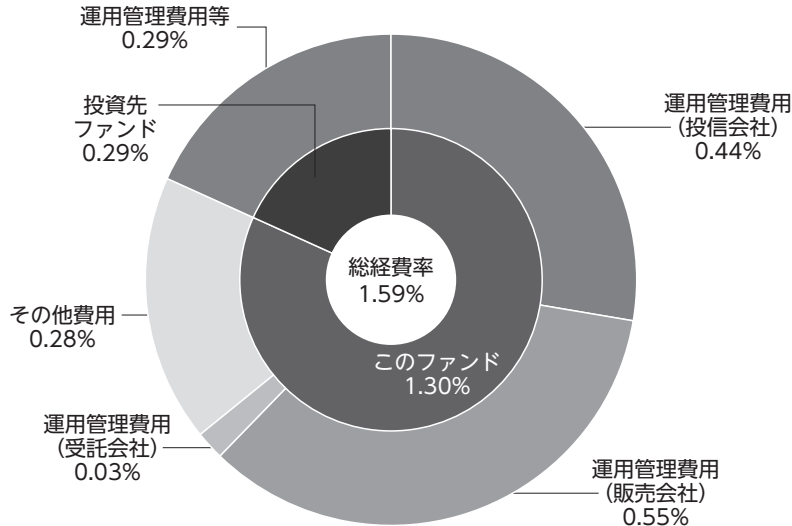
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.59%です。



総経費率 (①+②)	1.59%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.29%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

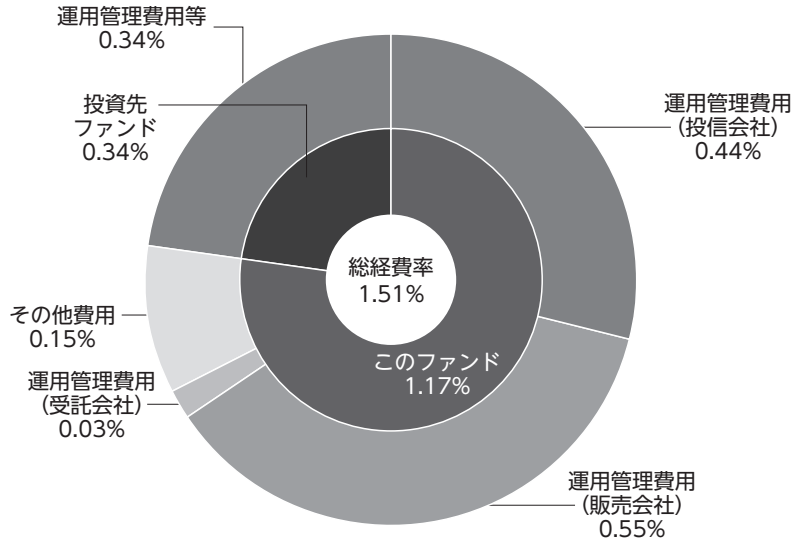
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ (参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.51%です。



総経費率 (①+②)	1.51%
①このファンドの費用の比率	1.17%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.34%

(注1) このファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)です。

(注5) このファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

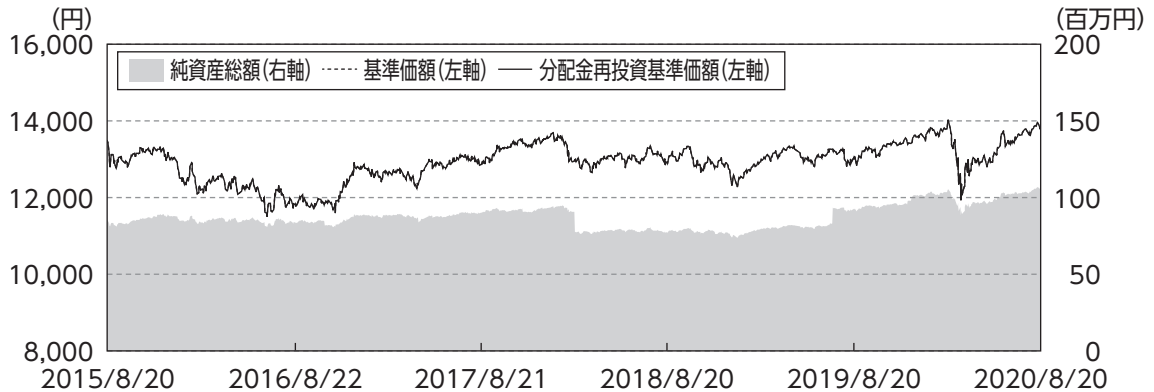
(注6) このファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年8月20日～2020年8月20日)

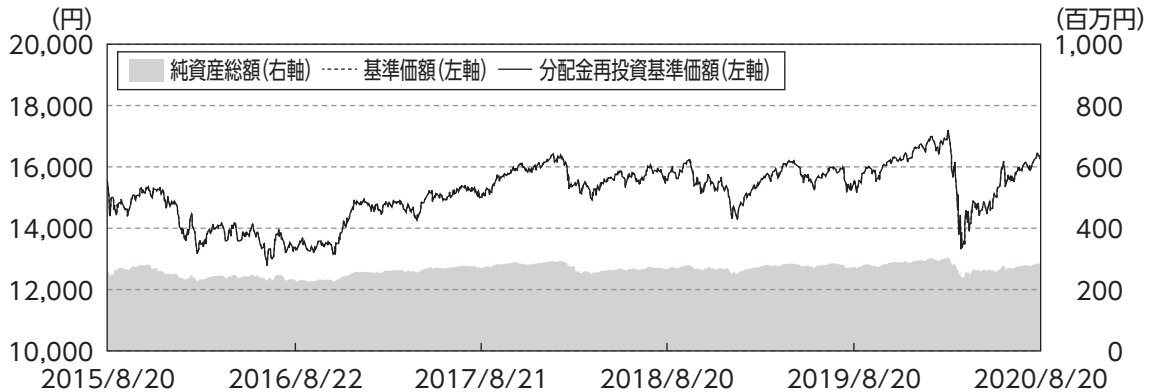


	2015年8月20日 決算日	2016年8月22日 決算日	2017年8月21日 決算日	2018年8月20日 決算日	2019年8月20日 決算日	2020年8月20日 決算日
基準価額 (円)	13,492	11,816	12,864	12,926	13,042	13,867
期間分配金合計(税込) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△12.4	8.9	0.5	0.9	6.3
純資産総額 (百万円)	85	83	90	77	92	105

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、2015年8月20日の基準価額を起点として指数化しています。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年8月20日～2020年8月20日)

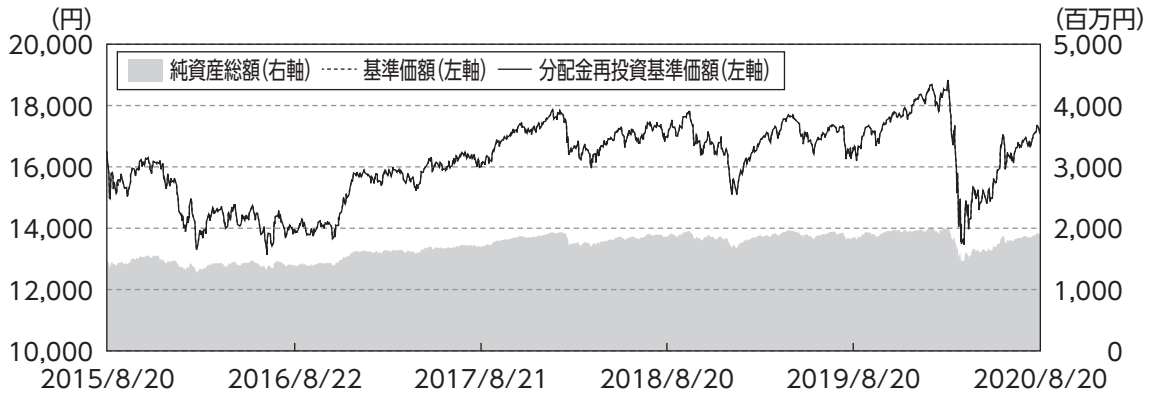


	2015年8月20日 決算日	2016年8月22日 決算日	2017年8月21日 決算日	2018年8月20日 決算日	2019年8月20日 決算日	2020年8月20日 決算日
基準価額 (円)	15,557	13,354	15,020	15,602	15,507	16,315
期間分配金合計(税込) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△14.2	12.5	3.9	△0.6	5.2
純資産総額 (百万円)	261	232	270	266	273	283

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、2015年8月20日の基準価額を起点として指数化しています。

4 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年8月20日～2020年8月20日)



	2015年8月20日 決算日	2016年8月22日 決算日	2017年8月21日 決算日	2018年8月20日 決算日	2019年8月20日 決算日	2020年8月20日 決算日
基準価額 (円)	16,504	13,931	16,016	17,001	16,643	17,186
期間分配金合計(税込) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△15.6	15.0	6.2	△2.1	3.3
純資産総額 (百万円)	1,491	1,395	1,697	1,865	1,858	1,906

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、2015年8月20日の基準価額を起点として指数化しています。

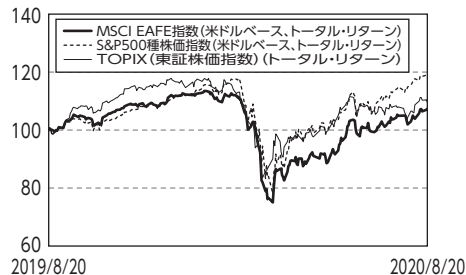
5 投資環境

●先進国株式・新興国株式

当期のグローバル株式市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大やそれに伴う経済活動の減速を受けて2020年2月下旬から3月中旬にかけて大きく調整したものの、世界規模での政府・中央銀行による大規模な経済対策などを背景にその後反発し、前期末比で上昇しました。

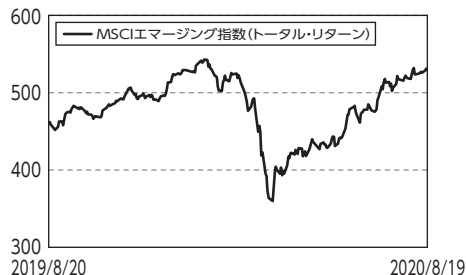
当期の先進国株式市場は、米中貿易協議の進展等を受けて景気減速懸念が後退するなか、期前半は堅調な展開となりましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて景気後退への懸念が急速に高まった2月下旬から3月中旬にかけて急落しました。また、OPEC(石油輸出国機構)とロシアなどの主要産油国の間での協調減産協議が難航したことも景気減速に伴う需要減から原油価格が急落したことも株式市場の下落に拍車をかけるかたちとなりました。しかし、米国をはじめ各国の政府や中央銀行による政策対応が迅速かつ大規模であったことに加え、4月以降は米欧での新型コロナウイルスの感染拡大ペースに減速の兆しが見られ、段階的に経済活動を再開する動きが広がったことが好感され、下げ幅を急速に縮小する展開となり、前期末比プラス圏まで回復して期末を迎えました。セクター別では、新型コロナウイルス感染拡大を受けて新しい生活様式への移行が予想されるなか、その恩恵を受けると考えられるテクノロジー関連セクターやワクチン開発期待を背景にヘルスケア・セクターなどが買われました。

当期の新興国株式指数は、米中貿易協議における第一段階の合意などを背景に期前半は堅調に推移したものの、当初中国で感染が確認された新型コロナウイルスが、中国以外でも急速に拡大するなか、世界的な景気後退懸念の高まりから2月から3月中旬にかけて大きく調整しました。また、原油価格が急落したことも資源国を中心に株式市場の下落を加速させるかたちとなりました。しかし、米国をはじめ各国の政府や中央銀行による空前の規模の政策対応に加え、新型コロナウイルス感染抑制のためのロックダウン(都市封鎖)等を経て米欧などで段階的に経済活動を再開する動きが広がったことや、資源価格の持ち直しも支援材料に、3月下旬以降は下げ幅を急速に縮小していく展開となりました。個別国では、組入比率の大きい中国と台湾の株式市場が大きく上昇し、指数を支えました。中国は新型コロナウイルス感染拡大の震源地だったものの、他国よりも早く経済活動の本格的な再開に向かったことから、3月以降に大きく上昇しました。台湾も新型コロナウイルスの封じ込めが成功したことに加え、好調な米ハイテク株の影響を受けて、主力の半導体関連株を中心に上昇しました。一方、原油価格の急落等を背景に資源国の株式市場は多くが前期末比マイナス圏で期末を迎えました。



(出所)ブルームバークのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、海外の指数は作成期間を1営業日前にずらして作成しております。



(出所)ブルームバークのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

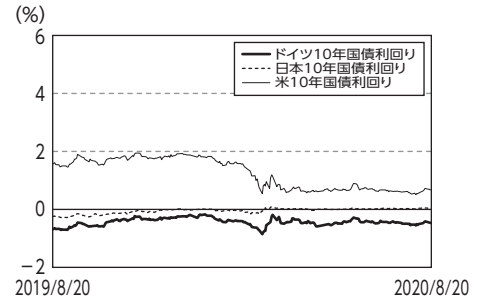
●先進国債券・新興国債券

当期の先進国債券市場は、米国の長期金利が大きく低下(債券価格は上昇)した一方、独仏や日本の長期金利は前期末比上昇しました。

米長期金利は、米中貿易協議の進展への期待の広がりとともに米国の景気失速懸念が後退し、リスクを選好する動きがみられるなか、2019年年末頃まで概ね上昇基調で推移しました。年明け以降は新型コロナウイルスが中国で蔓延し、その後米国内においても新型コロナウイルス感染者が急拡大するなか、投資家心理は一気に冷え込み、安全資産である米国債の買い需要が増大したことや、FRB(米連邦準備制度理事会)が事実上のゼロ金利政策を導入するなど大胆な金融緩和策を打ち出したことなどから、2020年3月上旬頃まで長期金利は大幅に低下する展開となりました。しかし、3月中旬には投資家の不安心理が極端に高まるなか、米ドル資金を確保する動きから安全資産とされる米国債まで売られる展開となり、短期間で金利が大きく上昇する極めて不安定な局面も見られました。その後はFRBによる大規模な国債買い入れ等の政策対応等を受けて、国債市場は落ち着きを取り戻し、期末まで低位で安定的な推移となりました。

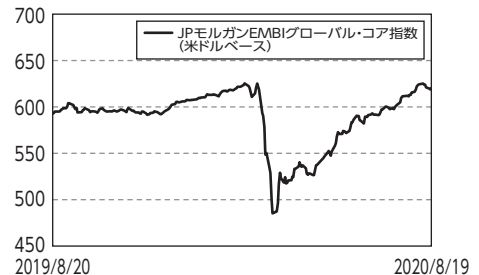
独仏や日本でも、長期金利は2019年年末頃までは上昇基調となりましたが、年明け以降は新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う景気後退懸念により長期金利は低下が進み、米国同様、3月中旬には大きく上昇する局面もありました。その後は、概ね落ち着いた動きとなったものの、ECB(欧州中央銀行)や日本銀行が新型コロナウイルスによる市場混乱の以前よりマイナスの政策金利を導入しており、独仏や日本などの長期国債利回りが前期末時点でマイナス水準まで大きく低下していたことや、巨額の財政支出に伴う発行増への警戒等も背景に、前期末水準を超えて利回りが低下することはありませんでした。

米ドル建て新興国ソブリン債指数は前期末比上昇しました。期前半はグローバルに株価が上昇基調で推移し、投資家のリスク選好姿勢が保たれたなか、指数も底堅い展開となりましたが、2月中旬以降は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う混乱のなか、スプレッド(米国債利回りに対する上乗せ金利)が急速に拡大し、3月下旬にかけて株価同様、指数も大幅に調整しました。しかし、財政による大規模な支援措置や中央銀行による大胆な金融緩和が世界規模で矢継ぎ早に導入され、グローバルに株価が回復基調をたどるとともに、米長期金利が歴史的な低水準で推移するなか、利回りを求める投資家からの投資需要が急回復し、指数は3月下旬以降順調に上昇してそれまでの下落分を埋め合わせ、前期末比プラス圏まで浮上しました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、海外の指数は作成期間を1営業日前にずらして作成しております。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

●米国リート

当期の米国リート市場は前期末比で下落しました。

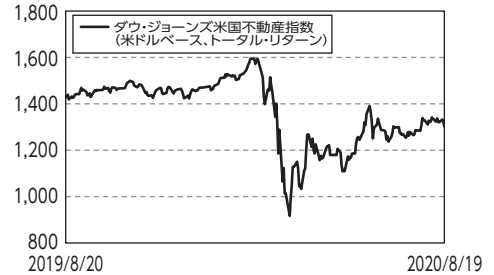
期前半は米中貿易協議の進展とともに堅調に推移したものの、2020年2月後半以降は米国内での新型コロナウイルスの感染拡大が加速し、急激な景気減速への懸念が深まるなか、米国株式をはじめリスク資産が売られる展開となり、米国リート市場も消費行動の変化や移動制限の影響を受けやすい小売関連やホテル・セクターなどが下落を主導するカタチで大きく調整しました。しかし、FRBによる金融緩和や政府による経済対策が迅速かつ大規模であったことに加え、新型コロナウイルス感染抑制のための厳しい移動制限措置等の実施を経て、全米各州において経済活動の再開が徐々に拡大していくなか、3月下旬以降は下げ幅を段階的に縮小する展開になりました。

●コモディティ

当期のコモディティ指数は、原油相場下落に足を引っ張られる形で大きく調整しました。

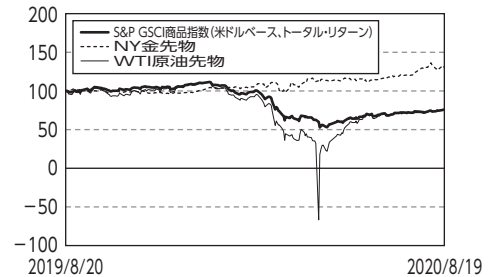
原油先物市場では、主要産油国による追加減産協議の決裂と一部産油国の増産計画等を受けた供給増への警戒、および新型コロナウイルスの感染拡大と世界経済の減速に伴う原油需要の後退懸念が重なり、2020年1月以降4月まで、大幅に切り下がる動きが繰り返されました。その後、OPECとロシアなど主要産油国による協調減産が実施され、経済活動再開に伴う需給改善期待を背景に反発しましたが、期末まで前期末を大きく下回る水準での推移となりました。

一方、金先物価格は、新型コロナウイルスの感染拡大による投資家心理の急激な冷え込みにより、安全資産としての需要が拡大したほか、世界的な金利低下により相対的な投資妙味が増したことから、期後半を中心に堅調な展開となり、大幅に上昇しました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。



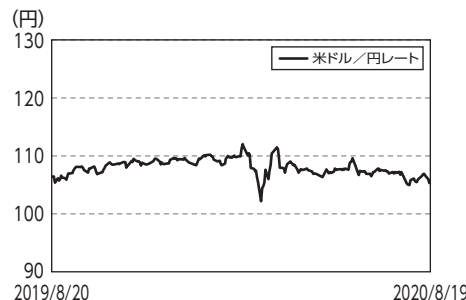
(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

●米ドル/円

当期の米ドル/円相場は、一時乱高下する局面もありましたが、前期末比ほぼ横ばい圏で期末を迎えました。

期前半は、米中貿易協議の進展と景気鈍化観測の後退を背景に米長期金利が上昇するなか、米ドル/円相場は緩やかな米ドル高/円安基調となりました。しかし、2020年2月下旬から3月上旬にかけては、新型コロナウイルス感染拡大を背景としたリスク回避姿勢の強まりやFRBによる政策金利の引き下げを受けた米長期金利の低下などを背景に急速な米ドル安/円高が進行し、その後3月下旬にかけては投資家の不安心理が極端に強まるなか、現金としての米ドル需要の高まりから一転して大幅な米ドル高/円安が進むなど、米ドル/円相場は2月から3月にかけて非常に不安定な動きとなりました。4月以降は、各国中央銀行の積極的な流動性供給を受けて米ドルの需給ひっ迫が緩和されたことに加え、経済活動の正常化とともに市場の過度なリスク回避姿勢が後退したことなどから、米ドル/円相場は落ち着きを取り戻し、米長期金利が歴史的な低水準で推移したことなどを背景に緩やかな米ドル安/円高基調が継続しました。

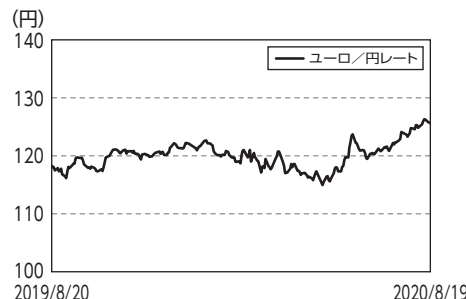


(出所)ブルームバークのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

●ユーロ/円

当期のユーロ/円相場は、前期末比大幅なユーロ高/円安となりました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う混乱のなか、ユーロ安が進む局面はあったものの、ECBによるPEPP(パンデミック緊急購入プログラム)の導入や、EU首脳会議における欧州復興基金創設などの大規模な政策対応や域内経済の早期回復期待等を背景に、2020年5月以降大きくユーロ高/円安が進行しました。



(出所)ブルームバークのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

6 当ファンドのポートフォリオ

安定型、成長型、積極型の各ファンドとも、当期を通じて基本資産配分を維持するよう運用を行いました。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

項 目	第11期
	2019年8月21日~2020年8月20日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	4,054

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

項 目	第11期
	2019年8月21日~2020年8月20日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	(—)
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	6,315

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

8 分配金

運用の基本方針等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(1万口当たり・税込)

項 目	第11期
	2019年8月21日~2020年8月20日
当期分配金 (円)	-
(対基準価額比率) (%)	(-)
当期の収益 (円)	-
当期の収益以外 (円)	-
翌期繰越分配対象額 (円)	7,186

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

安定型、成長型、積極型の各ファンドとも、引き続き、ファンドにおける基本資産配分比率に沿った形で、実質的な投資対象市場の動向、ファンド全体のリスク分散状況、追加設定・一部解約による資金フロー等を鑑みながら、組入比率の調整を行ってまいります。

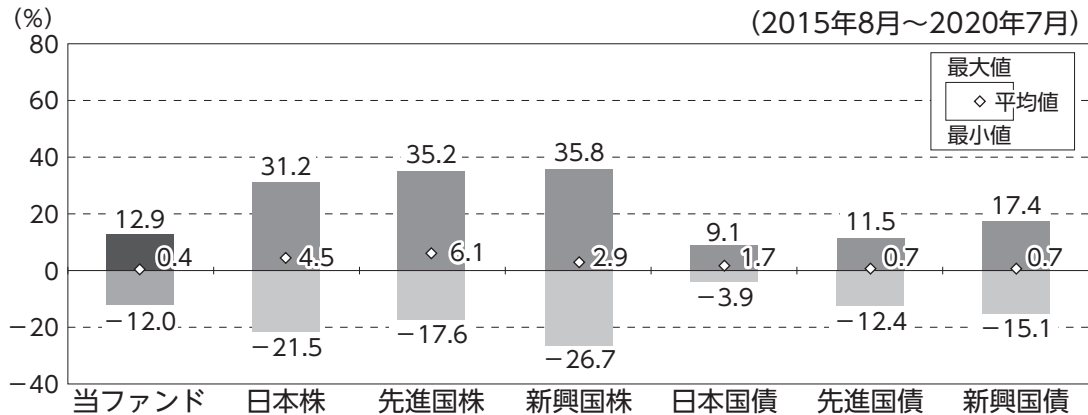
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	無期限(2009年8月7日設定)
運用方針	この投資信託は、主として、世界各国の取引所に上場されている投資信託証券への投資を通じて、世界(日本を含みます。)の株式、債券、不動産投資信託(REIT)、商品(コモディティ)へ実質的に分散投資を行い、長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界各国の取引所に上場されている投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	①主として、世界各国の取引所に上場されている投資信託証券への投資を通じて、世界(日本を含みます。)の株式、債券、不動産投資信託(REIT)、商品(コモディティ)へ実質的に分散投資を行います。 ②投資信託証券への組入比率は、原則として高位を維持します。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：日本インデックス
(円ベース)

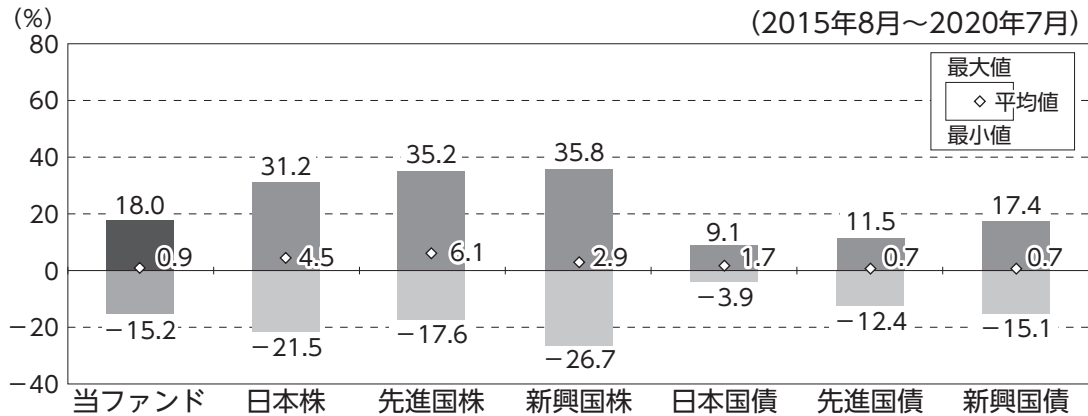
先進国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債(日本除く)
インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て高流動性国債
インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：日本インデックス
(円ベース)

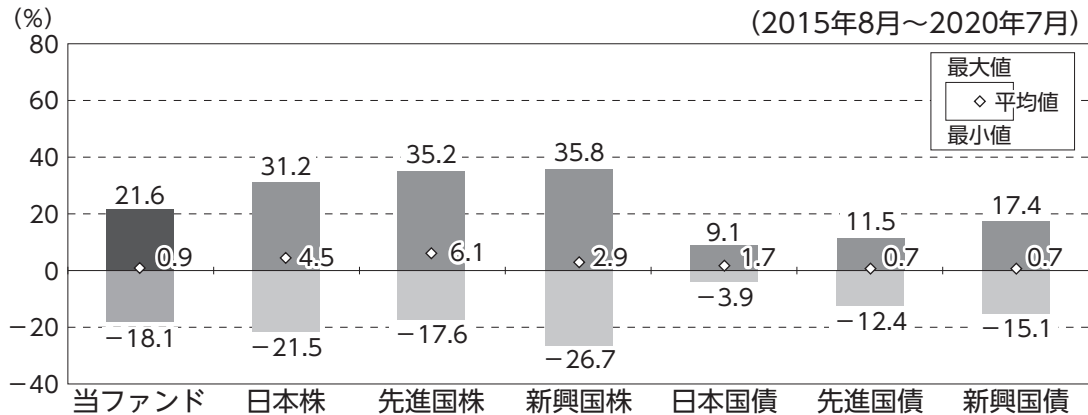
先進国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債(日本除く)
インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て高流動性国債
インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債：日本インデックス
(円ベース)

先進国債：ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債(日本除く)
インデックス(円ベース)

新興国債：ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て高流動性国債
インデックス(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

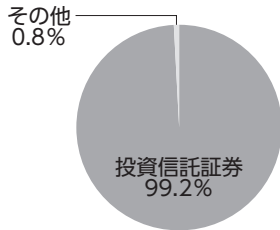
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

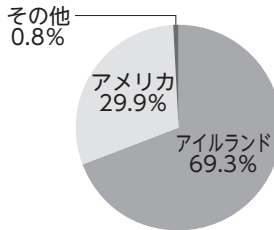
■組入ファンド

	当期末
iシェアーズ 世界国債 UCITS ETF	64.4%
iシェアーズ MSCI EAFE ETF	13.1%
iシェアーズ・コア S&P 500 ETF	11.3%
iシェアーズ MSCI エマージング・マーケット ETF	5.5%
iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 UCITS ETF	4.9%
その他	0.8%
組入ファンド数	5

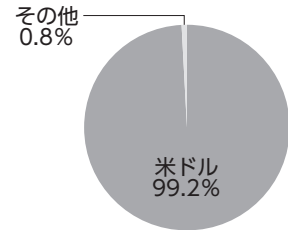
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第11期末
	2020年8月20日
純 資 産 総 額	105,836,834円
受 益 権 総 口 数	76,325,144口
1万口当たり基準価額	13,867円

※期中における追加設定元本額は13,139,642円、同解約元本額は7,864,618円です。

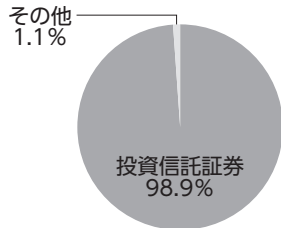
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

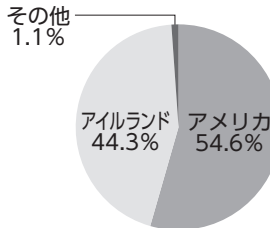
■組入ファンド

	当期末
iシェアーズ 世界国債 UCITS ETF	36.8%
iシェアーズ MSCI EAFE ETF	20.7%
iシェアーズ・コア S&P 500 ETF	16.4%
iシェアーズ MSCI エマージング・マーケット ETF	7.6%
iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 UCITS ETF	7.5%
iシェアーズ S&P GSCI™ コモディティ・インデックス・トラスト	5.1%
iシェアーズ 米国不動産 ETF	4.9%
その他	1.1%
組入ファンド数	7

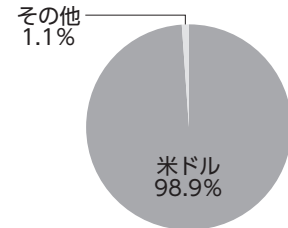
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第11期末
	2020年8月20日
純 資 産 総 額	283,477,762円
受 益 権 総 口 数	173,751,742口
1万口当たり基準価額	16,315円

※期中における追加設定元本額は15,704,853円、同解約元本額は18,584,522円です。

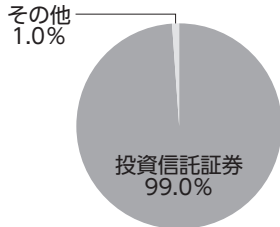
当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

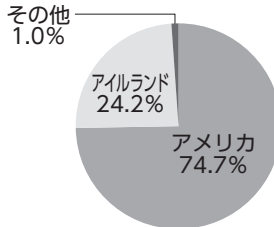
■組入ファンド

	当期末
iシェアーズ MSCI EAFE ETF	25.2%
iシェアーズ・コア S&P 500 ETF	20.1%
iシェアーズ 世界国債 UCITS ETF	14.5%
iシェアーズ MSCI エマージング・マーケット ETF	10.2%
iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 UCITS ETF	9.7%
iシェアーズ 米国不動産 ETF	9.6%
iシェアーズ S&P GSCI™ コモディティ・インデックス・トラスト	9.6%
その他	1.0%
組入ファンド数	7

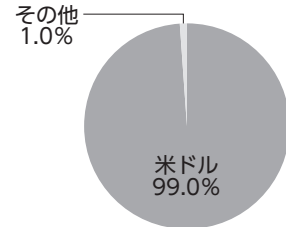
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

2 純資産等

項 目	第11期末
	2020年8月20日
純 資 産 総 額	1,906,145,359円
受 益 権 総 口 数	1,109,108,407口
1万口当たり基準価額	17,186円

※期中における追加設定元本額は106,497,561円、同解約元本額は114,259,750円です。

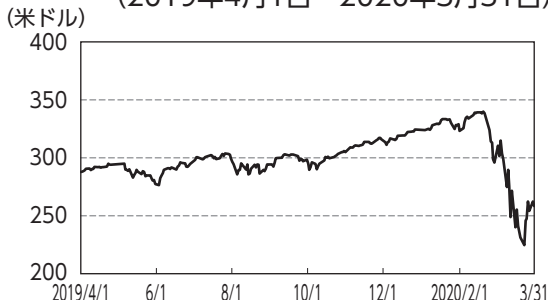
3 組入ファンドの概要

i シェアーズ・コア S&P 500 ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2019年4月1日～2020年3月31日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

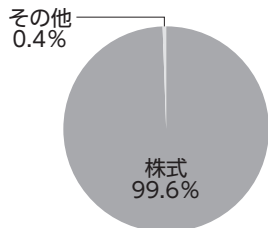
■組入上位10銘柄

(2020年3月31日現在)

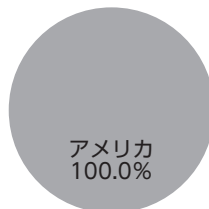
	銘柄名	国/地域	比率 %
1	Microsoft Corp	アメリカ	5.7
2	Apple Inc	アメリカ	5.0
3	Amazon. com Inc	アメリカ	3.8
4	Facebook Inc Class A	アメリカ	1.9
5	Berkshire Hathaway Inc Class B	アメリカ	1.7
6	Alphabet Inc Class A	アメリカ	1.6
7	Alphabet Inc Class C	アメリカ	1.6
8	Johnson & Johnson	アメリカ	1.6
9	JPMorgan Chase & Co	アメリカ	1.3
10	Visa Inc Class A	アメリカ	1.3
組入銘柄数		505	

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

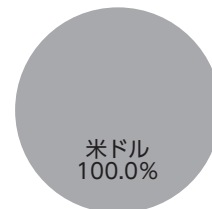
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

3 組入ファンドの概要

i シェアーズ MSCI EAFE ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2018年8月1日～2019年7月31日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

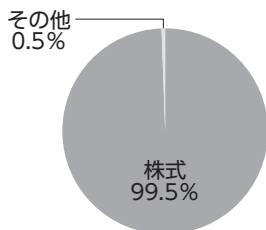
■組入上位10銘柄

(2019年7月31日現在)

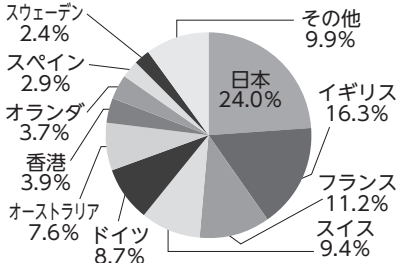
	銘柄名	国/地域	比率 %
1	NESTLE SA	スイス	2.4
2	NOVARTIS AG	スイス	1.4
3	ROCHE HOLDING PAR AG	スイス	1.4
4	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	1.2
5	トヨタ自動車	日本	1.1
6	ROYAL DUTCH SHELL PLC	イギリス	1.0
7	BP PLC	イギリス	1.0
8	AIA GROUP LTD	香港	0.9
9	TOTAL SA	フランス	0.9
10	SAP	ドイツ	0.9
組入銘柄数		926	

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■資産別配分



■国別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■通貨別配分

当該情報が取得できないため記載しておりません。

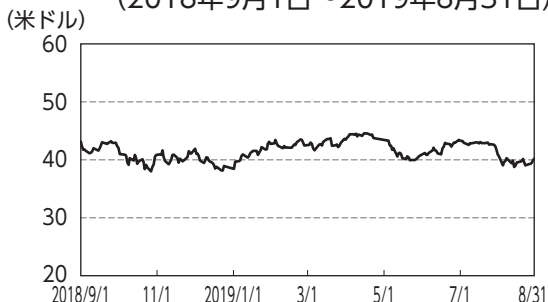
3 組入ファンドの概要

i シェアーズ MSCI エマージング・マーケット ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2018年9月1日～2019年8月31日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

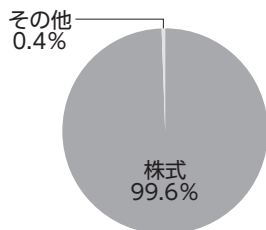
■組入上位10銘柄

(2019年8月31日現在)

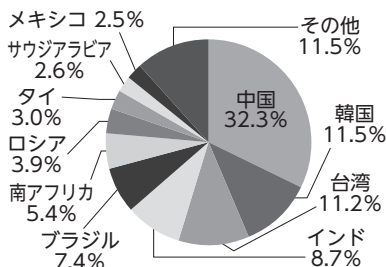
	銘柄名	国/地域	比率 %
1	ALIBABA GROUP HOLDING ADR REPRESEN	中国	4.7
2	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	4.4
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	台湾	3.8
4	SAMSUNG ELECTRONICS LTD	韓国	3.3
5	NASPERS LTD	南アフリカ	1.9
6	CHINA CONSTRUCTION BANK CORP H	中国	1.3
7	PING AN INSURANCE (GROUP) CO OF CH	中国	1.2
8	CHINA MOBILE LTD	中国	1.0
9	RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド	0.9
10	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CORPOR	インド	0.9
	組入銘柄数		1,057

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■資産別配分



■国別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■通貨別配分

当該情報が取得できないため記載しておりません。

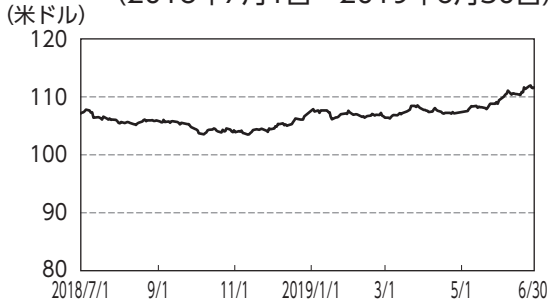
3 組入ファンドの概要

i シェアーズ 世界国債 UCITS ETF

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2018年7月1日～2019年6月30日)



■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

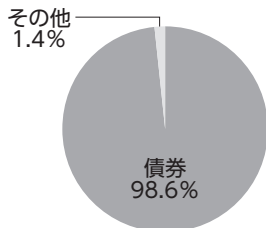
■組入上位10銘柄

(2019年6月30日現在)

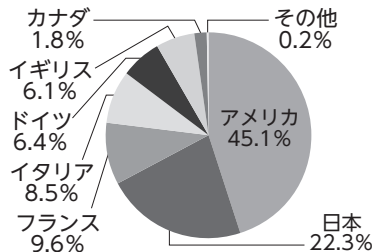
	銘柄名	国/地域	比率 %
1	TREASURY NOTE (15/May/25)	アメリカ	0.5
2	TREASURY NOTE (30/Nov/22)	アメリカ	0.5
3	TREASURY NOTE (20LD) (15/Nov/28)	アメリカ	0.5
4	TREASURY NOTE (15/Nov/24)	アメリカ	0.4
5	TREASURY NOTE (15/Nov/25)	アメリカ	0.4
6	TREASURY NOTE (OLD) (31/May/24)	アメリカ	0.4
7	TREASURY NOTE (15/May/28)	アメリカ	0.4
8	TREASURY NOTE (15/Aug/28)	アメリカ	0.4
9	TREASURY NOTE (15/Mar/22)	アメリカ	0.4
10	TREASURY NOTE (15/May/24)	アメリカ	0.4
組入銘柄数			727

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分

当該情報が取得できないため記載しておりません。

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

3 組入ファンドの概要

i シェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 UCITS ETF

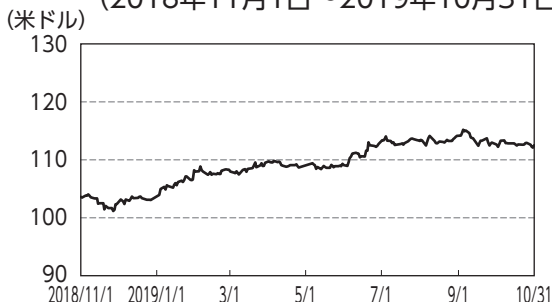
運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

(2018年11月1日～2019年10月31日)



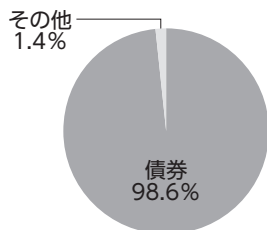
■組入上位10銘柄

(2019年10月31日現在)

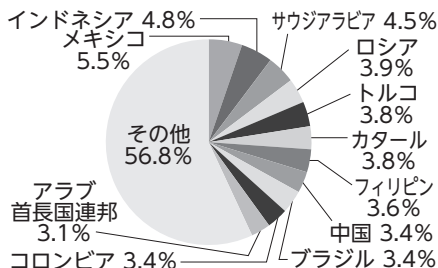
	銘柄名	国/地域	比率 %
1	URUGUAY (ORIENTAL REPUBLIC OF) (18/Jun/50)	ウルグアイ	0.9
2	KUWAIT STATE OF (GOVERNMENT) MTN RegS (20/Mar/27)	クウェート	0.9
3	RUSSIAN FEDERATION RegS (23/Jun/47)	ロシア	0.7
4	QATAR (STATE OF) RegS (23/Apr/48)	カタール	0.7
5	QATAR (STATE OF) RegS (14/Mar/49)	カタール	0.7
6	PERU (REPUBLIC OF) (18/Nov/50)	ペルー	0.7
7	COLOMBIA REPUBLIC OF (GOVERNMENT) (15/Jun/45)	コロンビア	0.7
8	PERU (REPUBLIC OF) (21/Nov/33)	ペルー	0.7
9	ABU DHABI (EMIRATE OF) RegS (11/Oct/27)	アラブ首長国連邦	0.6
10	POLAND (REPUBLIC OF) (23/Mar/22)	ポーランド	0.6
	組入銘柄数		475

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分

当該情報が取得できないため記載しておりません。

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

3 組入ファンドの概要

i シェアーズ 米国不動産 ETF

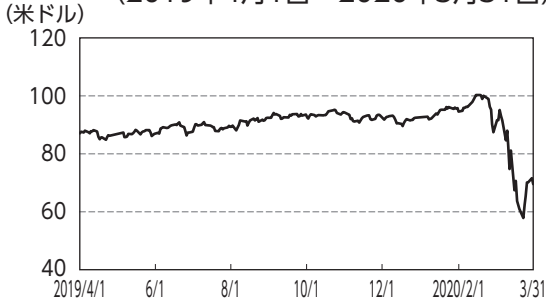
運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

(2019年4月1日～2020年3月31日)



■組入上位10銘柄

(2020年3月31日現在)

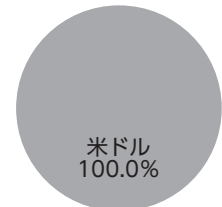
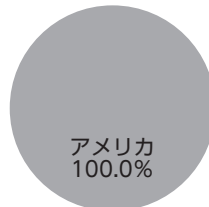
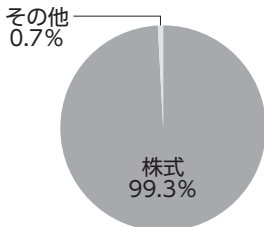
	銘柄名	国/地域	比率 %
1	American Tower Corp	アメリカ	10.1
2	Crown Castle International Corp	アメリカ	6.3
3	Prologis Inc	アメリカ	6.2
4	Equinix Inc	アメリカ	4.8
5	Digital Realty Trust Inc	アメリカ	3.9
6	SBA Communications Corp	アメリカ	3.2
7	Public Storage	アメリカ	3.1
8	Equity Residential	アメリカ	2.3
9	CoStar Group Inc	アメリカ	2.3
10	AvalonBay Communities Inc	アメリカ	2.2
組入銘柄数			113

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■資産別配分

■国別配分

■通貨別配分



(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

3 組入ファンドの概要

i シェアーズ S&P GSCI™ コモディティ・インデックス・トラスト

運用経過等に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

■基準価額の推移

(2019年1月1日～2019年12月31日)



■組入上位10銘柄

現物資産上位10銘柄

	銘柄名	国/地域	比率 %
1	TREASURY BILL 01/30/20	アメリカ	12.9
2	TREASURY BILL 01/16/20	アメリカ	11.0
3	TREASURY BILL 03/12/20	アメリカ	9.6
4	TREASURY BILL 02/06/20	アメリカ	9.0
5	TREASURY BILL 02/13/20	アメリカ	8.4
6	TREASURY BILL 04/23/20	アメリカ	7.1
7	TREASURY BILL 01/21/20	アメリカ	6.5
8	TREASURY BILL 01/07/20	アメリカ	6.5
9	TREASURY BILL 01/23/20	アメリカ	6.4
10	TREASURY BILL 04/16/20	アメリカ	4.5
組入銘柄数		16	

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

(2019年12月31日現在)

派生商品上位10銘柄

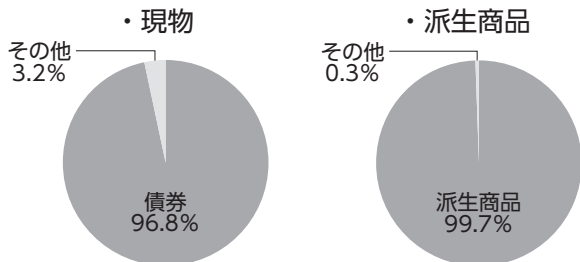
	銘柄名	国/地域	比率 %
1	GSCI EXCESS RETRN MAR 20	アメリカ	99.7
2	—	—	—
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入銘柄数		1	

(注)組入比率は純資産総額に対する想定元本の割合です。

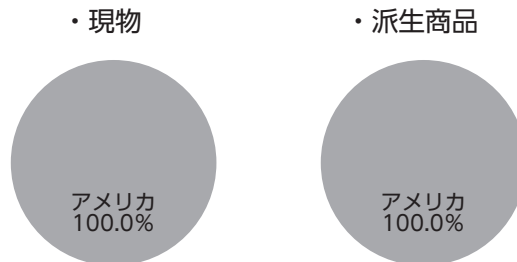
3 組入ファンドの概要

i シェアーズ S&P GSCI™ コモディティ・インデックス・トラスト

■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分

当該情報が取得できないため記載しておりません。

(注1) 現物資産の組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 派生商品の組入比率は純資産総額に対する想定元本の割合です。